

令和 4 年度

自己点検・自己評価報告書(学校関係者評価)

- 1 日時 第1回 学校関係者評価委員会 令和4年7月15日(金) 午後5時
第2回 学校関係者評価委員会 令和5年1月25日(水) 午後4時
- 2 会場 静岡県東部総合美容専門学校 応接室
- 3 委員 令和4年度学校関係者評価委員名簿

令和3年度学校関係者評価委員名簿

	委員	氏名	所属
1	元公立高等学校長	高田 道雄	
2	地域住民	鳥居 正浩	公立中学校 学校支援地域本部コーディネーター 警備会社 勤務
3	地域住民	永倉 えり子	キャリアコンサルタント フリーランス
4	卒業生	峯 知美	沼津市 辻写真館 勤務・美容師
5	保護者	藤谷 まゆみ	公立学校 支援員
	(本校職員)		
	校長	安藤 宏通	
	副校長	増田 一也	
	教務	白石 美和子	
	(事務長)	(橋本 仁宏)	

静岡県東部総合美容専門学校

自己点検・評価表(2022モデル Ver. 2.1SJ簡略化版の**評価の根拠 自己評価+エビデンスに重み付け=評価点**)

※ 書類・現地調査結果の項目は、体験として外部の方の意見をいただいたもので、第三者評価ではありません。

評価点を四捨五入し評価する 評価点を求める式 $(4 * 0.8 + 3.5 * (2 - 0.8)) / 2$

1 教育理念・目標		カテゴリ	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	評価点	自己採点	重み	エビデンスと教職員の自己評価	書類・現地調査結果					
1	1	中項目	理念・目的・育成人材像(教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか)										
1	1	2	A	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合	
1	1	3	B	④	3	2	1	3.7	3.5	3.4	全員	・「豊かな教養」を念頭に教育活動を行ったか。	適合
										3.3	全員	・「確かな技術」を念頭に教育活動を行ったか。	
										3.4	全員	・「社会への貢献」を念頭に教育活動を行ったか。	
										3.8	教員	・指導内容、指導方法の工夫改善を目指したか。	
										3.5	教員	・国家試験全員合格を目指し、工夫改善を行ったか。	
										3.4	全員	・生活目標「整理・整頓・清潔」の指導を積極的に勧めたか。	
										3.7	全員	・生活目標「笑顔・挨拶・感謝」の指導を積極的に勧めたか。	
4	0.8	エビデンス											
1	1	4	B	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合	
1	2	中項目	教育の特色(社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか)										
1	2	2	A	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合	

1-(1) 課題

- ・学生アンケートと比べると職員評価との乖離が見られる項目もある。日常の指導をもう一度見直す良い機会である。
- ・特に、通信生の国家試験全員合格の方策を練り直す必要がある。

1-(2) 今後の改善方策

- ①中間評価→改善→年度末評価のサイクルで学生アンケート実施していきたい。
- ②座学中心に授業改善を進めたい。

1-(3)学校関係者評価委員の意見

- ・学生や保証人に対して配布する資料や文書がていねいである。周知徹底されていると見て良いと判断する。
- ・通信生の国試合格率については、対策を全職員で練る必要がある。

2 学校運営		カテゴリ	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	評価点	自己採点	重み	エビデンス例	書類・現地調査結果					
2	1	中項目	運営方針(運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか)										
2	1	2	B	④	3	2	1	3.7	3.5	3.5	全員	・学校の運営方針を知っている	適合
								4	0.8			エビデンス	
2	2	中項目	事業計画(事業計画を作成し、執行しているか)										
2	2	1	A	④	3	2	1	3.7	3.5	3.5	全員	・学校の事業計画を知っている	適合
								4	0.8			エビデンス	
2	2	2	A	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
2	3	中項目	運営組織(運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか)										
2	3	1	A	④	3	2	1	4	4			エビデンス	
2	3	2	A	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
2	3	4	B	④	3	2	1	3.8	3.5	3.5	全員	・職員会議・打合せが朝になり、必要事項が伝わるようになった	適合
									4	1		エビデンス	
									3.5	3.5	全員	・起案については迅速・適切にできたか	

2	3	7	意思決定システムを整備しているか	S	④	3	2	1	3.8	4	1.2		エビデンス	適合
2	3	21	出退勤管理簿があるか	A	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
2	3	22	教職員の健康診断がされているか						3.8	3.5	3.5	全員	・健康診断の結果を活かそうとしている	適合
				A	④	3	2	1	4	1		エビデンス		
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか						3.7	3.3	3.3	全員	・清掃時に安全点検を行っている	適合
				A	④	3	2	1	4	1.2		エビデンス		
2	4	中項目	教職員の評価・育成(教員及び職員的能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか)											
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか						3.4	2.6	2.6	教員	・個人的に授業アンケートを行っている	適合
				A	4	③	2	1	4	1.2		エビデンス		
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	A	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
2	4	5	全ての教員(専任・兼任)に対して、当該学習分野又はスキル分野に関する必要なコンピテンスを有しているかを評価し、それらの評価結果を記録しているか	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
2	4	6	教員・講師は、経験を有し、日本国内において認知されている教授資格を持っている、又は認知されている講師養成訓練を受けているか	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
2	4	7	教員・講師に対して、ニーズ分析の結果に関する情報を十分に知らせているか(学生のニーズ、求人企業のニーズ等)	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
2	4	8	代講が必要な場合、適格な教員・講師が対応できるように手配し、当該教員・講師に授業の準備及び実施について指導しているか	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
2	4	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか						3.9	3.7	3.7	全員	・教員研修は役に立った	適合
				A	④	3	2	1	4	1		エビデンス		
2	4	23	教育の成果(学修結果)に基づく教員面接を実施しているか						3.4	3.7	3.7	教員	・校長・副校長・事務長と検定やコンテストなどの教育成果について話をした	適合
				B	4	③	2	1	3	1		エビデンス		
2	4	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか(教職員研修計画の作成)	B	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
2	4	32	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
2	4	41	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	4	③	2	1	3	3			エビデンス	適合
2	4	43	事務職員(学習サービスの提供に関わる教員・講師以外の職員)は、自らの職務をやり遂げるために必要なコンピテンス及び適格性を有しているか	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
2	5	中項目	人事・給与制度(人事・給与に関する制度を確立しているか)											
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	A	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	A	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	4	③	2	1	3	3			エビデンス	適合
2	5	4	採用制度は文書化されているか	B	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
2	6	中項目	情報システム(情報システム化等による業務の効率化が図られているか)											
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか(情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか)						4	3.7	3.8	全員	・デスクトップを有効に使用し、仕事の効率化が図られた	適合
									4	3.6	全員	・共有フォルダーや既存のファイル等を利用して業務の効率化を図ろうとしたか		
A	④	3	2	1	4	4			エビデンス					

2-(1) 課題

- ・施設設備の保守管理を効率よくしていきたい。
- ・教職員の研修は、資格が必要なものは全員で行ったため、効果は大きい。
- ・デスクネットを使用しての全員の予定管理、共有フォルダーの文書管理も前向きに取り組んだ。さらなる効率化を目指し、情報共有をしていきたい。

2-(2) 今後の改善方策

- 2-①施設設備の保守点検と長期修繕計画の実施に向けて、調査をしていきたい。
- 2-②実習教員研修会の回数を増やしていきたい。

2-(3)学校関係者評価委員の意見

- ・意思決定システムが機能していることは分かるので、規程等で明確化したい。
- ・学生の出席管理をタイムカードで行っていてその利点はよく分かる。今後ICカード等を利用し、外部から見られないようにすることも必要ではないか。

3 教育活動			カテゴリー	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1					エビデンス例			書類・現地調査結果	
3	1	中項目	目標の設定(教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか)										
3	1	2							3.6	3.4	全員	・教育活動が、国家試験の合格率上昇とコンテスト等の入賞者増加につながった。	適合
									3.7	教員	・教務日誌への記入を適切に行ったか。		
									3.8	教員	・授業時数の確保をしたか。自習時間がないような工夫がされたか。		
			A	④	3	2	1	3.8	4	0.8		エビデンス	
3	2	中項目	教育方法・評価等(各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか)										
3	2	3	B	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
3	2	5						3.7	3.5	3.5	教員	・シラバスに基づき授業を実施した	適合
			C/J	④	3	2	1	3.7	4	0.8		エビデンス	
3	2	11						3.8	3.4	3.4	実習教員	・美容技術理論と実習の連携を図った	適合
			J	④	3	2	1	3.8	4	1.2		エビデンス	
3	2	21						3.9	3.7	3.7	教員	・学生の授業アンケートの結果を活かそうとしているか	適合
			A	④	3	2	1	3.9	4	1.2		エビデンス	
3	2	22	B	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
3	2	23	B	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
3	2	24	B	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
3	2	25	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
3	2	26	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
3	2	41	B	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
3	2	43	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
3	2	61	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
3	2	62	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
3	2	63	J	4	③	2	1	3	3			エビデンス	適合
3	2	64	J	4	③	2	1	3	3			エビデンス	適合
3	3	中項目	成績評価・単位認定等(成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか)										
3	3	2	B	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
									3.7	3.8	実習教員	・フェスティバルのステージ、展示作品の評価を活用しているか	

3	3	5	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか						3.9	3.7	実習教員	・コンテストの結果や取組を活かそうとしているか	適合	
				S	④	3	2	1		4	1.2	エビデンス		
3	3	6	アセスメントの結果は、公平性・透明性及び守秘義務の原則に鑑みて、確立された権限又は正当な承諾を得た者のみ閲覧可能とされているか(閲覧制限)	J	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合	
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制(資格・免許取得のための指導体制があるか)											
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか(発行する修了証明書の種類及び内容)	A	④	3	2	1	3.9	3.7	3.7	検定関係者	・資格の取得に積極的に取り組んだか	適合
										4	1.2	エビデンス		
3	4	2	資格・免許取得のための指導体制はあるか	S/Q	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合	
3	5	中項目	キャリア教育等(基礎的・汎用的能力(①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力)を身につけるための取組が実施されているか)											
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	④	3	2	1	3.7	3.3	3.3	関係者	・東美キャリア教育プログラムの時間を有効に活用したか	適合
										4	1.0	エビデンス		
3	5	21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	A	④	3	2	1	3.8	3.4	3.4	関係者	・職業講話、分野別ガイダンス等に積極的に参加している	適合
										4	1.2	エビデンス		
3	2	42	学習参加の前提としているスキルや要件などに不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	J	④	3	2	1	3.6	3.3	3.3	教員	・授業の前提となる学力を把握するよう努めているか	適合
										4	1	エビデンス		

3-(1) 課題

実習授業と技術理論との連携不足を感じた。
TCEP(東美キャリア教育プログラム)初年度の教育内容を手探りで実施している。工夫改善を行いより良い年間計画を作りたい。
SNSの発信で手探りな部分が多い。高校生に関心を持ってもらえるような効果的な投稿を提案していきたい。

3-(2) 今後の改善方策

- 3-①TCEP・ステージ制の充実のための方策を検討したい。
- 2-②実習教員研修会の回数を増やしていきたい。(再掲)

3-(3)学校関係者評価委員の意見

・エビデンスの資料を作成するだけでも多くの労力を必要とするが、出張命令簿を作成するように、通常の業務として取り入れられるように工夫すると良い。

4 学修成果・教育成果			カテゴリ	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス例			書類・現地調査結果		
4	1	中項目	学修成果(各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか)											
4	1	3	コースの開始前又は開始時に、学習する内容に関して学習者が有するコンピテンスのレベルについて、アセスメントを行っているか	J	④	3	2	1	3.7	3.4	3.4	教員	・授業を開始するにあたり、必要な学力(技術)を把握するよう努めているか	適合
										4	1	エビデンス		
4	1	4	要請があった場合には、学習者又はスポンサーに対して、a)学習サービスの名称及び目的やb)指導時間数、c)達成度などの情報を含む修了証明書を提供しているか	J	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合	
4	2	中項目	就職率(就職率の向上が図られているか)											
4	2	1	就職率の向上が図られているか(結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか)	A	④	3	2	1	3.7	3.4	3.4	関係者	・就職情報を担当と共有しようとしたか	適合
										4.0	1	エビデンス		
4	2	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか	A	4	③	2	1	3.1	3.3	3.3	全員	・共有フォルダーの就職情報を活用しているか	適合
										3	1	エビデンス		
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	B	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合	
4	3	中項目	資格・免許の取得率(資格・免許取得率の向上が図られているか)											
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか(目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか)	A	④	3	2	1	3.7	3.6	3.6	検定関係者	・資格・検定の取得率を上げるために指導の工夫をしているか	適合
										4	0.8	エビデンス		
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	④	3	2	1	3.9	3.7	3.7	検定関係者	・資格・検定の取得率の目標を設定したか	適合
										4	1	エビデンス		

4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	③	2	1	3.2	3.4	3.4	職員	・共有フォルダーの資格取得率を参考にしているか	適合
										3	1		エビデンス	
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	B	4	③	2	1	3.1	3.3	3.3	教員	・資格・検定の結果に対して検証と報告がされたか	適合
													エビデンス	
4	4	中項目	社会的評価(卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか)											
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか)	A	④	3	2	1	3.7	3.5	3.5	教員	・卒業生の動向を知るために情報収集しようとしたか	適合
										4	0.8		エビデンス	

4-(1) 課題

- ・初めてメイクアップ検定を実施し、成果を感じた。
- ・検定内容に興味が無い学生の対応が難しい。
- ・理解できない学生に向けての指導を補修等で補っているが、課題は多い。
- ・卒業生の就職状況を把握する必要があるため、ラインの連絡網を使用できるようにしておきたい。今年はとても効果的だった。

4-(2) 今後の改善方針

- 4-①授業改善の1つの柱として、授業への興味関心を高めることを挙げたい。
- 4-②在学中に活用している連絡ツールは、卒業してからも使用することを指導したい。

4-(3)学校関係者評価委員の意見

- ・共有フォルダーを利用しているのは、共通理解や情報の共有化のためには効果的である。

5 学生支援			カテゴリ	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス例				書類・現地調査結果	
5	1	中項目	修学支援(学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか)											
5	2	中項目	就職等進路指導(就職・進路指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか)											
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか(またそれはきちんと学生や保証人(保護者)に周知されているか)	A	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
5	3	中項目	学生相談(学生相談に関する体制は整備されているか)											
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)	A	④	3	2	1	3.7	3.5	3.3	全員	・問題行動防止のため、日頃から指導できたか	適合
										3.7	全員	・学生を理解しようとしたか。		
										3.7	担任	・一人一人の学生を生かした学級経営を工夫できたか		
										3.3	教員	・学生相談に関する体制を活用したか		
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	B	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
5	3	21	留学生に対する相談体制を整備しているか	S	4	3	2	1	-	-				-
5	4	中項目	学生生活(学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか)											
5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)	A	④	3	2	1	3.8	3.7	3.7	担任	・健康診断の結果を学生に指導したか	適合
										4	1		エビデンス	
5	4	41	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているか(学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか)	A	④	3	2	1	4	4			エビデンス	優良
5	4	43	遠隔地からの学生のための寮を整備しているか、またはアパート・マンションの紹介等を行っているか	S/Q	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
5	4	45	学習に関する要望、学習に関する要望を取り巻く状況及び通学の障害となる要因(距離や費用等)を理解し、解決に向けた提案を行っているか	J	④	3	2	1	3.8	3.6	3.6	教員	・学生の学習に関する要望・意見を聞こうとしたか	適合
										4	1		エビデンス	
5	5	中項目	中途退学への対応(退学率の低減が図られているか)											
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	A	④	3	2	1	3.8	3.5	3.5	教員	・退学防止のための指導を工夫したか	適合
										4	1.2		エビデンス	
			退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか							3.7	3.7	教員	・退学率の低減に向けて、スクールカウンセラー活用や学生指導を心がけたか	〃

5	5	3	返す年の協議に関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	④	3	2	1	3.8	4	1	エビデンス	適合
5	6	中項目	保証人(保護者)との連携(保証人との連携体制を構築しているか)										
5	6	1	保証人(保護者)と適切に連携しているか(保証人のニーズを把握しているか)	A	④	3	2	1	3.7	3.3	3.3	・保護者面談の結果を共有しているか	適合
5	6	2	保証人(保護者)との計画的な相談会・面談を行っているか	B	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合
5	7	中項目	卒業生・社会人支援(卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか)										
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか(再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか)	B	④	3	2	1	3.8	3.7	3.7	関係職員・卒業生の就職状況の聞き取りや再就職の相談等を積極的にしているか	適合
5	7	21	卒業生への卒業教育等の支援体制はあるか(卒業生への講習・研修を行っているか)	B	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合
5	7	23	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	S	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合
5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合

5-(1) 課題

- ・個別対応の時間・不登校気味の学生の指導
- ・学生の家庭への介入方法を学びたい。
- ・不登校への対応を研修し、更なる退学者数の減少に取り組みたい。

5-(2) 今後の改善方策

5-①専門学校における不登校対策や遅刻対策の方法について情報収集を心がけ、取り入れていきたい。

5-(3)学校関係者評価委員の意見

・不登校等について、前向きに取り組んでいることがよく分かる。専門学校で、学校独自にスクールカウンセラーまで依頼していることに驚いた。

6 教育環境				カテゴリー	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1					エビデンス例			書類・現地調査結果
6	1	中項目	施設・設備等(施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか)										
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)	A	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	④	3	2	1	3.8	3.6	3.6	職員・備品や機材等を積極的に使おうとしているか	適合
6	1	5	学習環境として外部組織が管理する施設・設備を用いる際には、必要となる最小限の要件を特定し、提示しているか	J	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合
6	1	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	J	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	B	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	④	3	2	1	3.9	3.7	3.7	職員・生活目標の「整理・整頓・清潔」を意識して指導しているか	適合
6	1	41	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	A	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合
6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等(校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備していますか)										
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱に関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	B	④	3	2	1	3.9	3.7	3.7	職員・就業規則「第4章 服務規律」を読んだか	適合
6	3	中項目	防災・安全管理(防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか)										
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合
									3.3	3.3	職員	・校内の消火器等の場所を把握しているか	

6	3	2	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか	A	④	3	2	1	3.7	4	1.2	エビデンス	適合
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	A	④	3	2	1	3.8	3.5	3.5	職員・防災訓練・防災指導に積極的にかかわったか	適合
6	3	41	学校における安全管理の整備を行っているか	B	④	3	2	1	4	4		エビデンス	適合

6(1) 課題

- ・防災意識を自ら高めることに、積極的に取り組みたい。
- ・カットウィッグの保管場所の確保に悩んでいます。
- ・エステ美顔器は、20年以上前のものなので、メンテナンスの必要性を感じます。
- ・校内の機材の活用方法を、積極的に教えてもらうようにしていきたい。
- ・各種設備・備品の老朽化が見られる。

6(2) 今後の改善方策

2-①施設設備の保守点検と長期修繕計画の実施に向けて、調査をしていきたい。(再掲)

6-①防災・減災と日頃の清掃時の点検箇所チェックが関係していることに気づかせたい。

6(3)学校関係者評価委員の意見

- ・校内を見ても清掃が良くなっている様子が分かる。
- ・実習やインターンシップ等の悩み相談を、ていねいに対応している様子がよく理解できた。

7 学生の受入れ募集			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス例			書類・現地調査結果	
7	1	中項目	学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか)										
7	1	3	A	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
7	1	4	A	④	3	2	1	3.9	3.7	3.7	職員	・学生募集活動は、適正に行われているか	適合
7	1	5	S/Q	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
7	1	6	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
7	1	21	A	④	3	2	1	3.8	3.6	3.6	職員	・入学に関する問い合わせを、速やかに正確に処理しているか	適合
7	1	22	A	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
7	1	23	B	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
7	1	25	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
7	1	26	J	4	③	2	1	3	3			エビデンス	適合
7	1	27	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
7	1	41	C/J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
7	2	中項目	入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか)										
7	2	1	A	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
7	2	2	A	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
7	2	3	S	4	③	2	1	3	3			エビデンス	適合
7	2	5	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
7	3	中項目	学納金(学納金は妥当なものとなっているか)										
7	3	1	A	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合

7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
7	3	3	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	S	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
7	3	4	入学辞退者への授業料返還について、文部科学省通知(18文科高第536号)に基づいて適切に対応しているか	S/Q	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
7	3	6	学習者又はスポンサーから要請があった場合には、支払の証明を提供しているか	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合

7-(1) 課題

- ・保護者、高校生からの問い合わせに、すぐに答えることができないことがあり、その対応に迷うことがある。
- ・入学に際し、授業料等の問い合わせが多く寄せられる。
- ・高校3年生との対面接触を増やしていきたい。

7-(2) 今後の改善方策

- 7-①電話対応について、マニュアル化していきたい。
- 7-②高校訪問等をできるだけしていきたい。

7-(3)学校関係者評価委員の意見

- ・HPで職員紹介をすることも必要ではないか。

8 教育の内部質保証システム				カテゴリ	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス例			書類・現地調査結果	
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか)											
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	④	3	2	1	3.8	3.5	3.5	職員	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がされているか	適合
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	4	③	2	1	3	3			エビデンス	適合
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	B	4	③	2	1	3	3			エビデンス	適合
8	2	中項目	個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか)											
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	4	3	2	1	4	4			エビデンス	要観察
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	4	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていくか	B	4	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
8	3	中項目	学校評価(自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか)											
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	B	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
8	3	8	評価の範囲、目標、根拠、基準、方法及びスケジュールを含む、モニタリング及び評価の手段などを考慮し、モニタリング及び評価のプロセスを設計しているか	J	4	3	②	1	2	2			エビデンス	適合
8	3	9	適切な評価体制を有し、学校評価(学習サービスの評価)が実施されているか(適格者によるモニタリング及び評価を実施できているか)	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
8	4	中項目	改革・改善(各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか)											
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか						3.1	3.3	3.3	職員	・自己点検・評価の必要性について理解している	適合
				A	4	③	2	1	3	3	1.2		エビデンス	
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	4	③	2	1	3	3			エビデンス	適合
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	③	2	1	3	3			エビデンス	適合
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	③	2	1	3	3			エビデンス	適合
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	③	2	1	3	3			エビデンス	適合
8	4	21	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか(モニタリング及び評価の結果を考慮して、学習サービスの改善・変更を実施しているか)	J	4	③	2	1	3	3			エビデンス	適合

8	4	41	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
8	4	42	学生及び保護者等が不満を抱いている場合や、学校側と意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
8	4	43	業界や地域社会等からの意見の収集・分析・応答の仕組ができてきているか(苦情及び要請への対応を含む)	J	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合
8	5	中項目	教育情報の公開(教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか)											

8-(1) 課題

- ・関係法規などを積極的に学びたい。
- ・内部質保証の研修が活きる取組をしていきたい。

8-(2) 今後の改善方策

- 8-①引き続き、正しい学校経営、質の高い教育内容を、全職員で目指していきたい。
- 8-②職員一人ひとりが、PDCAサイクルを意識するようになりたい。

8-(3)学校関係者評価委員の意見

- ・それぞれの項目について、実施はしているもののエビデンスが不十分で、評価点の3が多くなってしまった。次年度の改善に期待したい。

9 財務			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1							エビデンス例			書類・現地調査結果
9	1	中項目	財務基盤(学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか)											
9	1	2	A	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合	
9	1	3	S	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合	
9	2	中項目	予算・収支計画(予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか)											
9	3	中項目	監査(財務について会計監査が適正におこなわれているか)											
9	4	中項目	財務情報の公開(私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか)											
9	4	2	B	④	3	2	1	4	4			エビデンス	適合	

9-(1) 課題

在庫管理を更に工夫していきたい。

9-(2) 今後の改善方策

- 9-①限られた予算をいかに効果的に使っていか引き続き考えたい。

9-(3)学校関係者評価委員の意見

- ・情報公開を含め、前向きに捉えて進めている様子が分かる。

10 社会貢献・地域貢献			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1							エビデンス例			書類・現地調査結果
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献(学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか)											
10	1	1	A	④	3	2	1	3.8	3.4	3.4	教員	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	適合	
10	1	2	A	④	3	2	1	3.7	3.4	3.4	職員	・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	適合	
10	2	中項目	ボランティア活動(学生のボランティア活動を奨励・支援しているか)											
10	2	1	A	④	3	2	1	3.8	3.7	3.7	職員	・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	適合	

10-(1) 課題

本年度は、地域のイベントへのボランティア参加ができた。学生も積極的な活動をしていった。

10-(2) 今後の改善方策

- 10-①地域や高校生への「メイク講座」等、依頼があれば積極的に参加していきたい。
- ②挨拶運動の日常化を目指したい。

10-(3)学校関係者評価委員の意見

- ・高校でのメイク講座等の開催を、積極的に支援するという姿勢は良いことである。積極的に地域に出て行って欲しい。
- ・挨拶運動を学生と共に行っていることは、通勤途上に目にした方々から聞いたことがある。公共マナーを意識することや挨拶運動で社会貢献する美容師の卵が育っていることを思うと、今後に期待ができる。

◎学校関係者評価を受けて

今年の学校評価は、更に進化したという評価だった。外部評価の項目を導入することによって、評価しやすい項目で評価するのではなく、多面的に学校を見つめることになる。その姿勢が学校をより良くしようとする現れであるとのことだった。また、8-2-1の項目で個人情報保護規定について要観察となったが、規定を新に作成したので、改善がなされた。

本年度採用した評価項目で学校評価を実施することにより、見えてきた課題もあり、その改善に積極的に取り組んでいきたい。

①改善計画を作成しそれに基づきPDCAサイクルを進めていくこと。②公共マナーを意識した生徒指導③リカレント教育や生涯学習講座など、地域の中学校、高等学校、教育施設との連携④ホームページの内容の見直し⑤サーバーのフォルダーに対する規準づくり⑥相談体制の見直し⑦国家試験への効果的な取り組み方⑧エビデンスの保存の仕方⑨学生アンケート項目の満足度上昇